

第二回アジア学院 ワークキャンプ発表会

・2009年9月1日～8日 実施



一日目

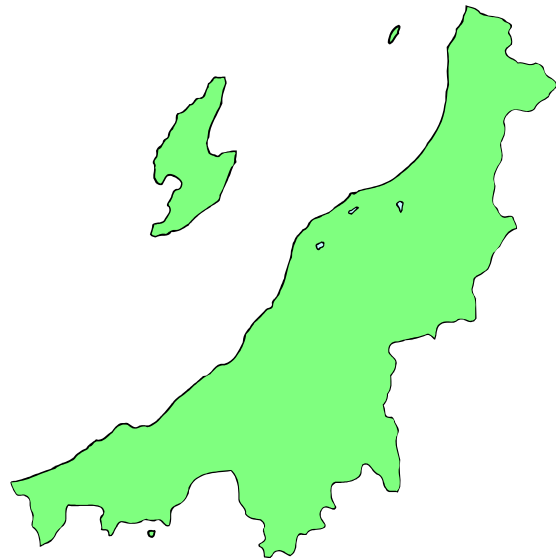
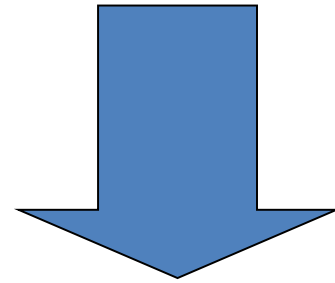
▪ Ice Breaking

▪ 事前学習





北海道から



新潟へ

小樽築港駅



船の中



Ice Breaking



事前学習の発表 ～前半～



農業を通しての国際交流

休憩中

事前学習の発表 ～後半～



富弘美術館

夕食



就寝



2日 目



- ・アジア学院到着
- ・アジア学院の見学

新潟で借りたレンタカー。
これより栃木県アジア学院へ。

座り心地良好♪




シートベルトは
大丈夫ですか？



A photograph of a man with dark hair, wearing a dark striped shirt, sleeping peacefully in the passenger seat of a car. His eyes are closed, and his head is resting against the headrest. The car window shows a blurred landscape of green hills and a road. A light green speech bubble with a black border points to the man's head.

OKです♪

A photograph of a man with dark hair and glasses, wearing a plaid shirt, sleeping in the driver's seat of a car. He is wearing white earbuds. His head is tilted back against the headrest. The car window shows a blurred road and a white car in the distance. A light green speech bubble with a black border points to the man's head.

車に揺られて
3時間..

Asian Rural Institute

アジア学院



目的地
到着。
いよいよ

。

visitor

アジア学院 食堂にて。
研修生達との昼食。

若干緊張。



同志社大学の皆さんと合流。
顔合わせ。

三日間同じところで

~~一緒に泊りました。~~



学校の
ガイドをしてくだ
さったアメリカ人
宣教師
ジョナタン
さん。



キャンパスツアー
へ、Let's go ♪



アジア 学院

全体 地図

学校法人アジア学院 Asian Rural Institute

アジア農村指導者養成専門学校
Rural Leaders Training Center



- | | | |
|-------------------------|--------------------------|---------------------------|
| ① 案内看板 ARI Map | ⑩ 鶏舎 Chickens | ⑱ 高層舎 Brooder House |
| ② 温泉神社 Shrine | ⑪ メタンガス発生装置 Biogas Plant | ⑲ サイロ Silo |
| ③ 野菜畑 Vegetable Field | ⑫ 豚舎 Pigs | ⑳ 男子寮 Men's Dorm |
| ④ 農畜産準備棟 Farm Shop | ⑬ うさぎ小屋 Rabbits | ㉑ 育雛舎 Brooder House |
| ⑤ 堆肥場 Compost | ⑭ 野菜畑 Vegetable Field | ㉒ 実験室 Laboratory |
| ⑥ 農業工作棟 Workshop | ⑮ 豚舎 Pigs | ㉓ 本館 Main Building |
| ⑦ 階段式堆肥舎 Compost Shed | ⑯ 家畜小屋 Animal Shed | ㉔ 炭焼き窯 Charcoal Kiln |
| ⑧ 稚魚池 Fish Pond Nursery | ⑰ 鶏舎 Chickens | ㉕ 倉庫(旧女子寮) Storage |
| ⑨ 野菜畑 Vegetable Field | ⑱ 鶏舎 Chickens | ㉖ 倉庫 Storage |
| | ⑲ 鶏舎 Chickens | ㉗ 女子寮 Women's Dorm |
| | ⑳ 鶏舎 Chickens | ㉘ 炭焼き窯 Charcoal Kiln |
| | ㉑ 鶏舎 Chickens | ㉙ 養魚池 Fish Ponds |
| | ㉒ 鶏舎 Chickens | ㉚ コイノニアハウス Koinonia House |
| | ㉓ 鶏舎 Chickens | ㉛ 野外ステージ Outdoor Stage |
| | ㉔ 鶏舎 Chickens | ㉜ 職員住宅 Staff Houses |
| | ㉕ 鶏舎 Chickens | ㉝ バンブーハウス Bamboo House |
| | ㉖ 鶏舎 Chickens | ㉞ パハイクホ(民芸品販売所) Folkcraft |

沿革
当学院は、1973年3月、群馬(東京朝日市)の農村伝道神学校・東洋アジア新米子の前身として、当地に設立された。以来、毎年アジア・アフリカなどから30名前後の、農村指導者となる若人青年を招き育ててきた。卒業生は世界45か国に男女約800名を数える。

使命
神の愛と恵みのもと、発展途上国の農村の人々と共に、すべての人々と社会が、人間の尊厳と社会の生活の向上を目指すことを望み、神の恵みの指導者として、互いに学び成長する国際的な場と機会を提供することを使命としている。

願い
神によって創られた自然・生物・人間すべてがいのちが「共に生きるために」、当学院の使命と生活が、より多くの人々に理解され、受け入れられることを願っている。

敷地面積 Area 6ha (18,000坪) 海拔 Altitude 270m


HISTORY
The Institute was established in this place in March, 1973. Its predecessor was South-East Asian Christian Rural Leaders Training Course (SEARC) of Tsurukawa Rural Elementary in Tokyo. The Institute invites every year some 30 rural leaders from Asia, Africa etc. for further training. Today about 800 graduates can be found in 45 countries all over the world.

MISSION
In God's Love and Grace, to provide an opportunity and facility for international mutual learning among rural leaders, so that all can grow together, respecting human dignity and improving the life of all people and societies, serving the numerous rural peoples in the developing countries.

EXPECTATION
That God's whole creation—nature, creatures and human beings, all may live together, and that the life and mission of the Institute may be understood better and supported further by more and more people.

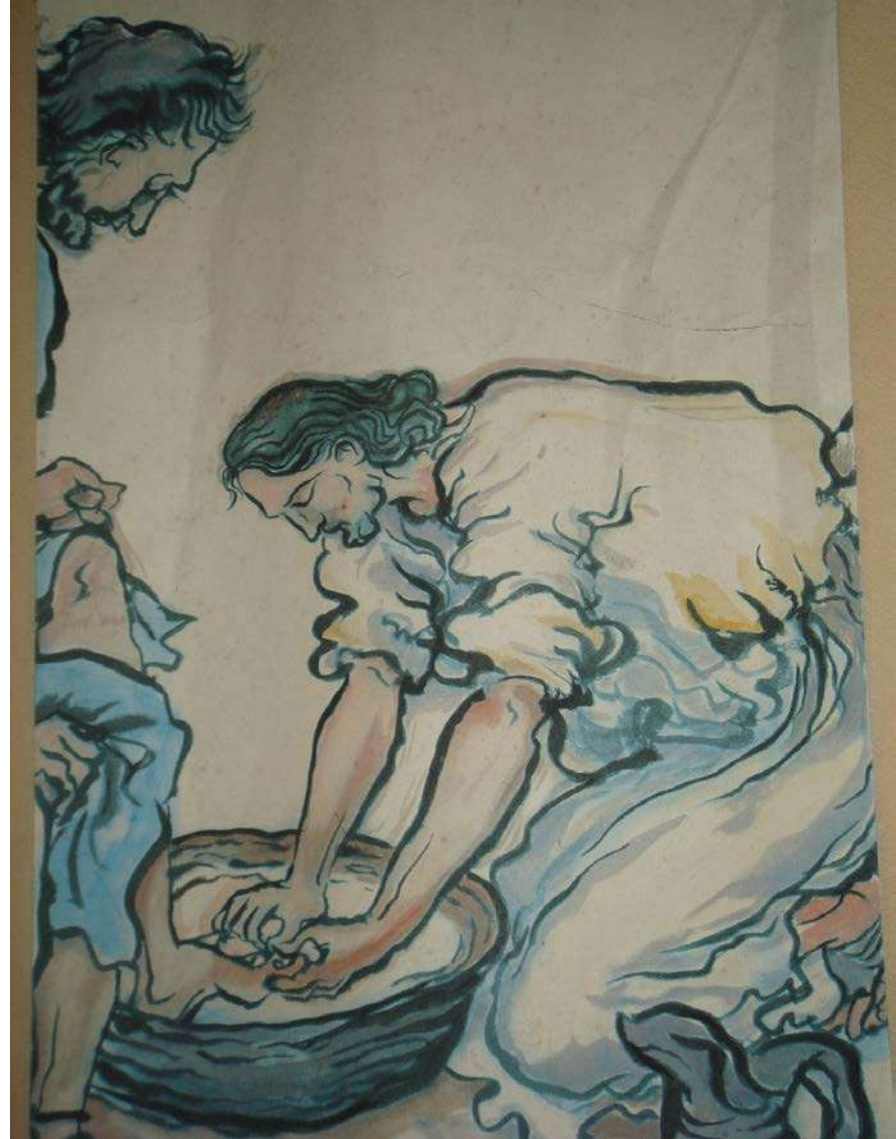


アジア学院は、毎年20－30名の草の根で活動する農村指導者をアジア・アフリカの農村地域から招き、栃木県那須塩原市に位置するキャンパスにて9ヶ月間の農村リーダー養成研修を行っています。キャンパスには、学生、職員、ボランティアが共に生活し、共に汗しながら、有機農業を基礎とした食糧自給を目指し、公平かつ平和な共同体形成の実践を試みています。このアジア学院の活動は、皆様のご厚意とご寄付によって支えられています。

A young girl with a joyful expression is the central focus, wearing a blue headscarf with green and black stripes and a blue top. She stands in a field of golden wheat stalks. In the background, another person is visible, and the scene is set outdoors with green foliage. A light green speech bubble with a black border is positioned in the upper right, containing Japanese text.

人の命と、それを支える
食べ物を大切にする世界
をつくろう。
共に生きるために。

先に立つものほど、
仕えなければならない



「弟子の足を洗うイエス」



**あなた方の中で偉くなりたい者は、
皆に仕える者になり、いちばん上になりたいものは、
皆の僕(しもべ)になりなさい。マタイ20章16節**

天井干しの

たまねぎ



豚小屋です。
独特のにおい
がします^^;



妊娠中です..



パンパンに膨らむ
バイオガ

ス...

料理の火の元。



アジア学院内の畑。
もうすぐ秋の収
穫でした。



ゴミステーション
でした。



豚のガスは火の元になり、
肉は身の肥やしになる。



溜池は魚を養い、
雨水は、
畑の潤いになる。

学生さんたちと食事をしたコイノニアハウス。毎回多国籍料理。



名前には、
ギリシャ語の願いが
込められている。



全て円卓が使用され食事の際、お互いに向き合って食べることになる。



夜の反省会。明日のために… 今日を振り返るのです。

www.edu.or.jp
www.edu.or.jp
www.edu.or.jp
Hiro



3日目

4日

目



アジア学院での生活

- ・農作業
- ・交流会

アジア学院の
一日紹介^^b



朝の初めは
ラジオ体操から！



朝飯前の農作業

。

~Foodlifework~



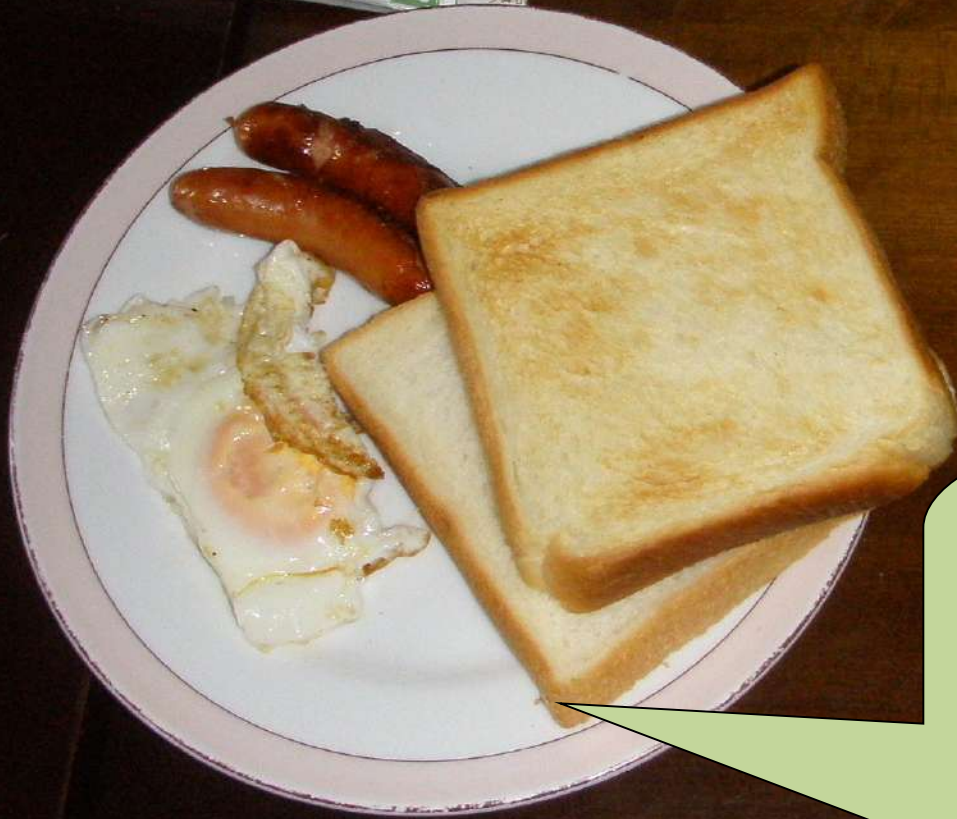


命を繋ぐのは食べ物。
食べ物を育む
のは土。

スリランカに旅立つ
高橋先生。



ごはんをつくる
キッチン。



こんがりトーストと
ウインナー、
トマトサラダ
アジア学院
風です

みんなで食べるご飯は、
一人で食べるごちそう
より、美味しく感じる。



毎朝の集会。英語だったため
意味があまり理解できず、
若干睡魔との闘いだった..



The Mission of the Kitan Rural Institute
Our mission is to provide education, health care, and other practical services to help Kitan women and children to improve their standard of living.
This mission is applied to the field of Bible Study.
To carry out this mission, we recruit and train local workers.
Leaders, both women and men, help to solve community problems and carry out community projects in their villages. At the same time, they carry out community Bible study programs and other activities.
Through community-based learning we study the best ways for rural people to share abundant local resources and address the common goal.
We presently challenge to ourselves and to the whole world in our approach to living and life.

Prayer
12/2/16

Signal
source: Input 8

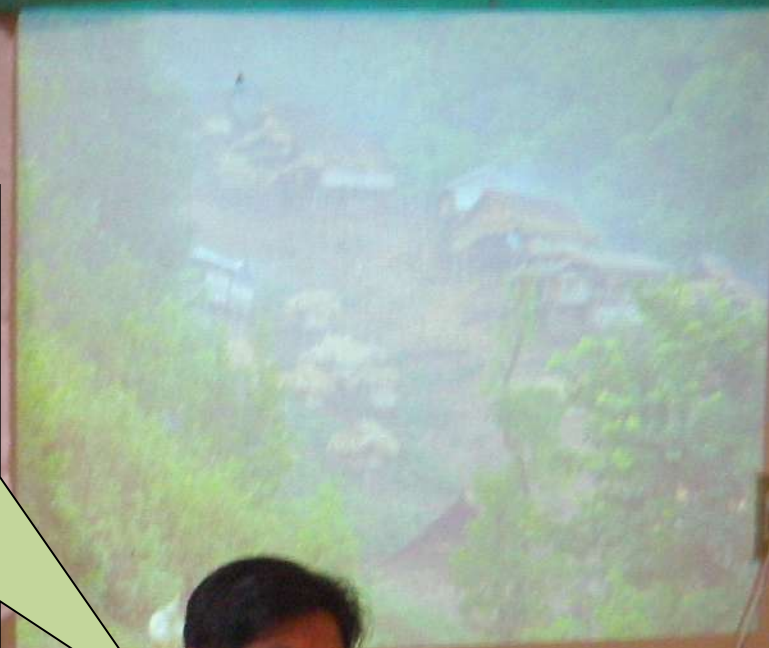
人の数だけ
物語があり、
国の数だけ
言語もある。

We present a challenge to ourselves and to the whole world
in our approach to food and life.

3, 7000/
my This my hand
ment of white
introductions
my 15 of 10000/
ray
New, N, B, A, and N
(Marka said 32/1)

Chimoto ka

17/3



TOILET
トイレ



いざ、農作業へ！



酪農生総出での
とうきび狩り。



根元から
除草！



そして
担ぎ上げて..



運び込む！



満杯まで
積み込む！



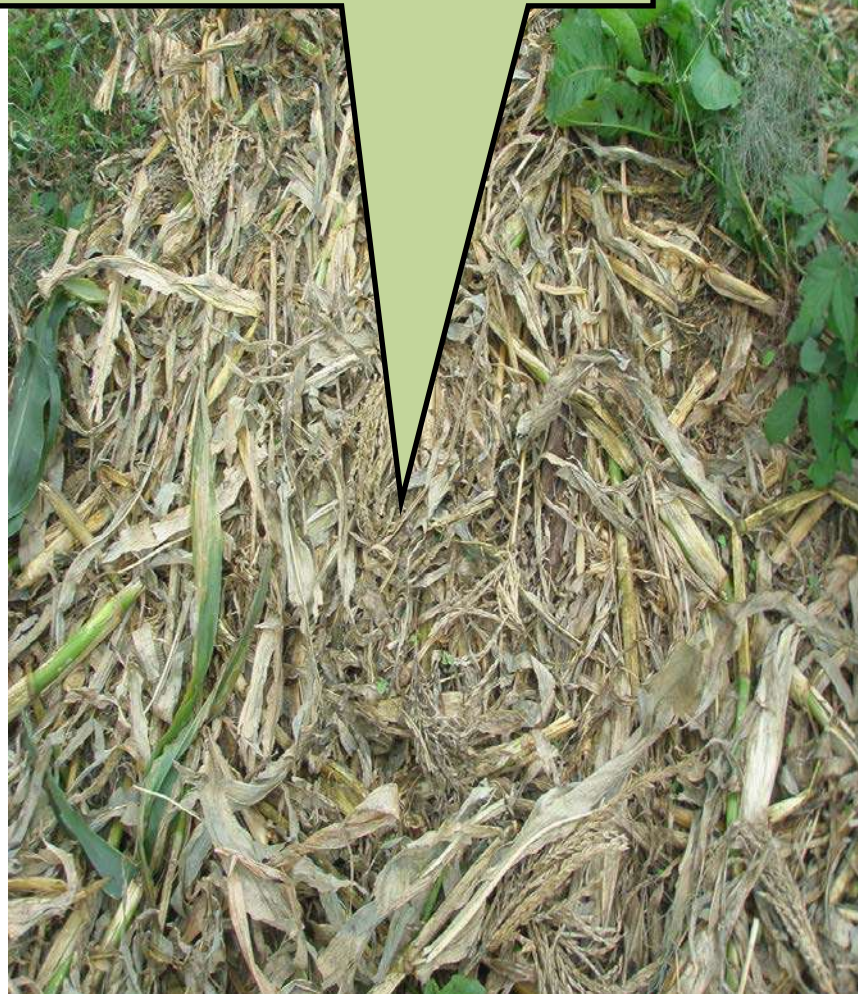
**トウキビの葉を抱えて
木の周りに運びます。
雑草防除の効果有。**



摘むと美味しい！
ブルーベ
リーの木。

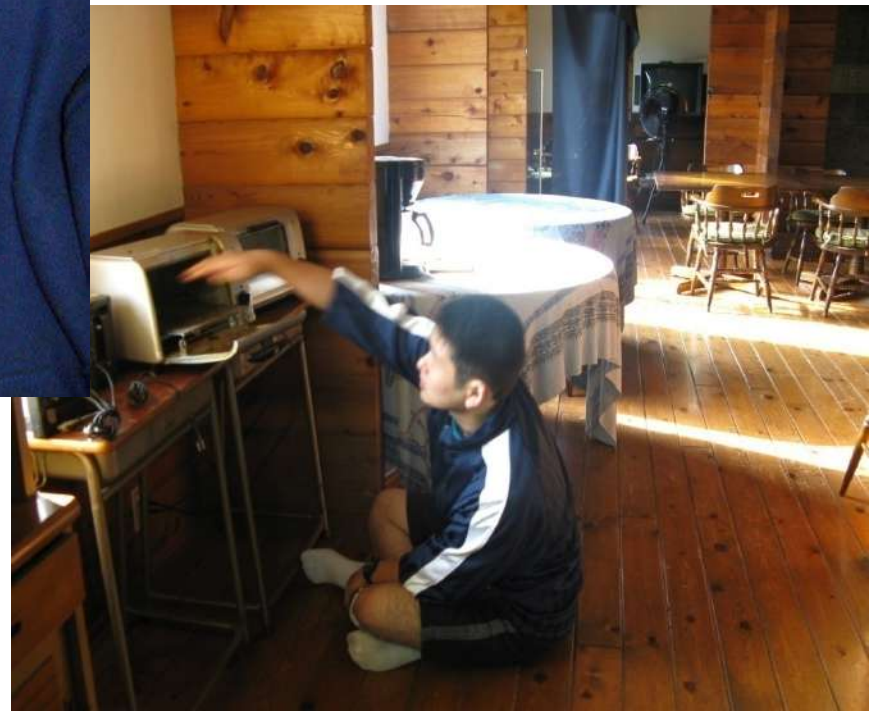


木の周りに
敷いたトウキビ。





Lunch
time 🎵



集合場所
でのBreak.
これより
農作業へ



一面に
広がる緑



畑で働く
私たち…



アジア学院号。
これにみんな乗って
きた。



室内でのコー
ヒー豆の選別作
業。



コーヒーマシン。
豆は選り分け
られ、香り高く。






お待ちかね！
ご飯ですよ！♪

夜のディナー♪カ作
のカレーライス。



A man in a dark blue polo shirt is sitting at a table, eating a plate of curry with white rice. He is holding a silver spoon to his mouth with both hands. In front of him is a white bowl of salad and a glass of water. To the right is a bottle of dressing. A speech bubble is overlaid on the right side of the image.

溢れんばかり♪
おかわり自由^^

アジア学院で活躍する酪農
の先輩方を交えての交
流会。



大学院生でいらした
職員の壁谷さん。



元熱気球部、アジア学院
の研修生である堀池さん



お時間をいただいた
お二人に感謝を込めて..



お土産を進呈させて
いただきました
^^v



二日目の
交流会は..



同志社大学、アジア 学院の皆さんと交流会



(本気の)
椅子取りゲームを
しました♪



緊張の一瞬...



OFFの男部屋・・





自由時間。
夜はこれから・・・

5日目



- 足尾銅山跡地
- 富弘美術館
- 田中正造記念館(佐野市郷土博物館)

案内していただいた 長島さん

▼足尾の地図▼



サービスエリアでの 説明



古河鉄工精錬所跡



足尾銅山について 説明



▼足尾全体図▼



足尾の山



■ 緑化の方法(人力)

1年目

草も木もない山は、雨が降ると土砂がすぐに流れだすので、これを防ぐためコンクリートブロックや丸太を使って、土留を行い山腹を安定させます。



2年目

荒れた山には、養分が全くないので種生袋というカーゼ状の袋に、土・堆肥・化成肥料・草の種子を入れたものを鉄ピンで止め、筋状に張りつけていきます。

種生袋を張りつけて2週間ほどすると草が生えてきます。

イタドリ、ススキ、ヨモギ、ケンタッキ-31、ウィーピングラブグラス等

ヘリコプター

復興への取り組み

3年目

草が生え、山の斜面が安定したら、筋と筋の間に木を植え肥料をやり、長い間大切に育てていきます。

● 肥科木
マツハギ、アキグミ、ヤシブシ、ニセアカシア等
● 主林木(山腹山をゆる大きな木)
ミズナラ、クロマツ、カラマツ等

ヘリコプターによる緑化

尾尾の荒れた山には、急斜面や奥地すぎて作業に行けないところがあります。

このようなところには、1965(昭和40)年からヘリコプターを使用し、草や木の種子を播く方法を取り入れ緑化面積の拡大に効果を上げています。



足尾ダム





◀すのこ子橋 堆積場

積み上げられた土砂
や不純物(カラミ)▼



**朝鮮人強制労働者
慰霊塔→**



**←中国人強制労働者
慰霊
塔**

富弘美術館

富弘美術館

Tomihiro Art Museum





星野 富弘

1946年 群馬県に生まれる

群馬大学卒業後、中学校の体育教師になるが、頸椎を損傷し、手足の自由を失う。

1973年 病院で生かされていることの感謝と喜びを絵や詩に表して描き始める。

1974年 病室で基督教の洗礼を受ける。

病室で描いた詩画の作品展が全国各地で開催され、大きな感動を呼ぶ。

1991年 故郷の勢多郡東町に富弘美術館
開館。

1994年 ニューヨーク、ハワイ、サンフランシスコ
～2001年 シスコ、ロサンゼルスで詩画展を開催。

現在も世界中で詩画展を開催し、創作活動を

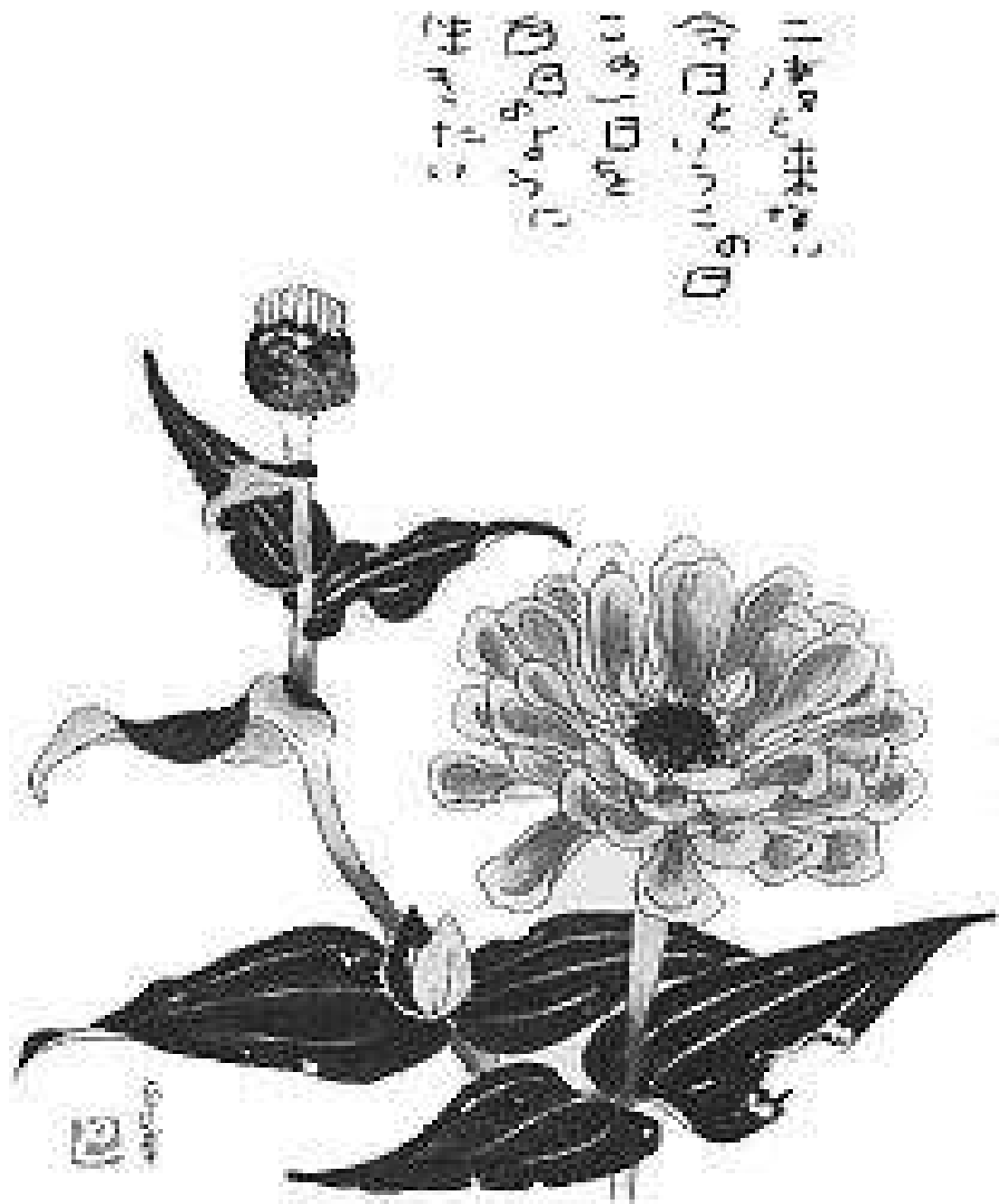
詩画



神様がたった一度だけ
この世を力かして下すちと
母の肩をたたかせるもらぶ
風に揺れる。くさくさ
実を見ていた
そんな日が本当に
来るような気がした



二度と来ない
今日というこの日
この一日を
百日のように
生きたい



『小菊』

よろこびが集ったよりも
悲しみが集った方が
しあわせに近いような気がする

強いものが集ったよりも
弱いものが集った方が
真実に近いような気がする

幸せが集ったよりも
ふしあわせが集った方が
愛に近いような気がする





佐野市郷土博物館



田中正造展示室。



足尾鉍毒事件を世間に広めまた！



正造さん 関連の展示物

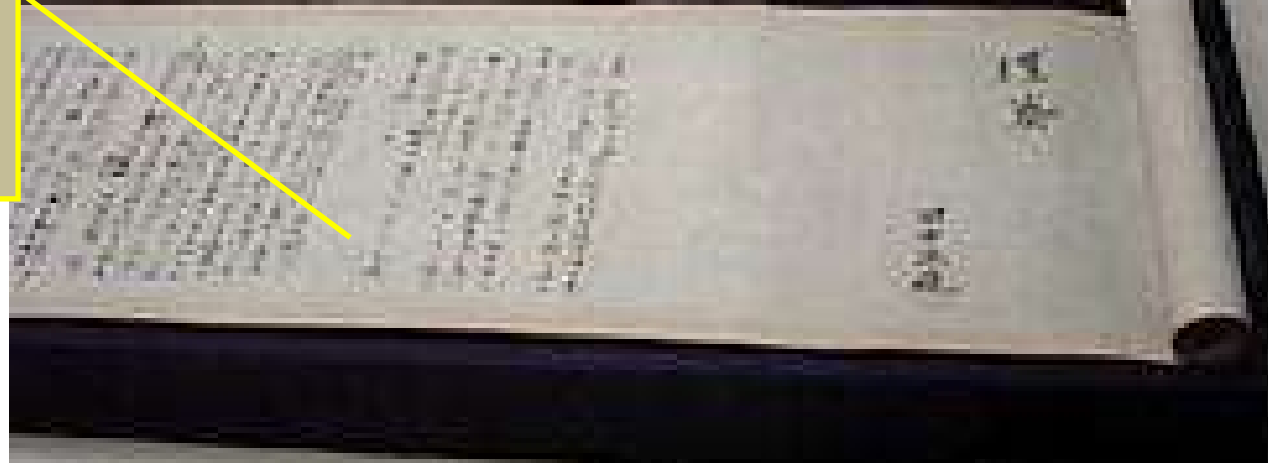
正造さんの私物





鉍毒の
被害にあった
作物

田中正造
の直訴状





田中 正造 翁

天保12年11月3日誕生

**明治23年第1回衆議院議員総選挙
に当選**

足尾鉍毒事件を議題に質問演説

明治34年10月衆議院議員辞職

同年12月天皇陛下に直訴

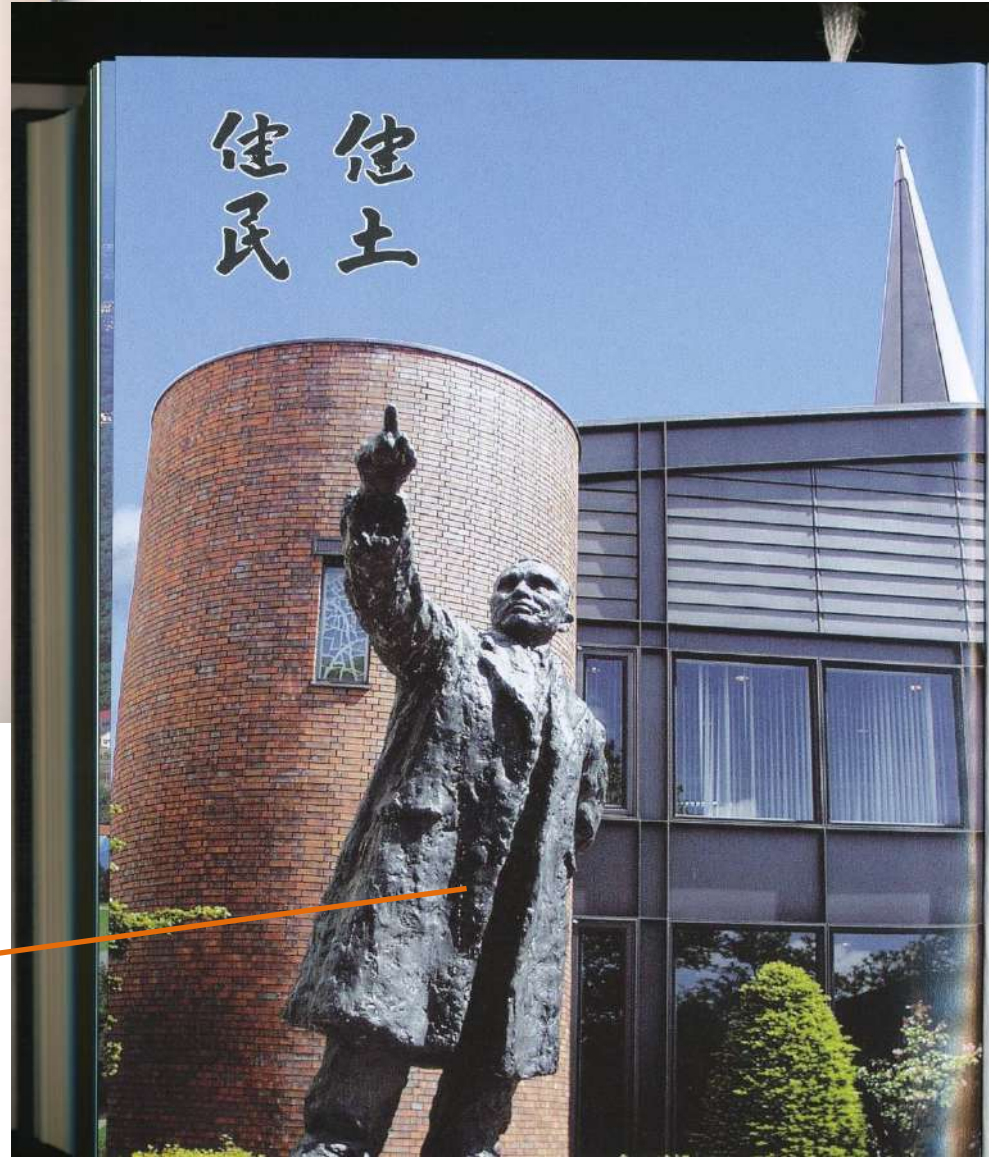
関東大水害後も河川調査を続行

大正2年9月4日73歳死去

田中正造



黒澤酉蔵



6日目



- ・西那須野教会
- ・南ヶ丘牧場

西那須野教会 礼拝堂





JJ & Friends ゴスペル演奏







教会での交流



南ヶ丘牧場

タッチ

南ヶ丘
牧場





私たちが開拓して南ヶ丘牧場を作りました！



かつて開拓の若き戦士として
同志とともに北滿の原野に立ち
はたかり
あるときは酷寒の凍を振り払い
不毛の荒野に肥沃な大地を築き出し
不屈な夫婦
後日ソ聯軍の侵攻をうけや
婦女子をかくめた同志をなげき
ときに泣きし
ときに誇りの肩をかちして励まし
今日果敢として英知あふよる勇力者
果敢にして英知あふよる勇力者
戦後那須高原に草屋をかまへや
ふたたび開拓の令をきこい
巨石よくだき
大余の篠原を切りかき
乳牛頭の乳をこぎたかくし
辛苦をかきわて今日の牧場を
まします
ついに築きあげた功業員にかへし
ロマンの勝者
私はここに惜みなき敬いと
林眞美をこめて同部大妻と
たたえ
平成二年六月五日
見川鯛山 記



僕は珍しい
ガーンジイ種
なんだモ～

残念ながら

<牛にとってより良い環境を求めて、二本松 南ヶ丘牧場に牛を移動しました！>



南ヶ丘牧場では、これまで那須高原にて観光牧場を営む一方で、日本では希少な「ガーンジィ牛」を飼育しておりました。

たくさんのお客様にご来場いただくなかで、乳牛にとってもっともっと十分なスペースや環境を与えてあげたくても、色々な制約があることが多くなってきました。

南ヶ丘牧場は、牛の飼育環境を一番に考え、2008年10月に福島県二本松市に【二本松 南ヶ丘牧場】を開き、よりよい環境で牛を飼うことを目的として乳牛を移動いたしました。

牛が食べる草も自給できる体制と牛たちがよりよい環境でのびのびと暮らせることを目指し、放牧中心の飼育方法に転換して参ります。 ※【二本松 南ヶ丘牧場】の敷地面積は約33haで、【那須高原 南ヶ丘牧場】の約3倍の広々とした敷地を確保しています

もちろん【那須高原 南ヶ丘牧場】では、どうぶつ達をより身近に感じていただく事ができるように、これまで通りふれあい広場や放牧場で牛をはじめ、羊やロバや馬などの飼育をしております。

土地に手を掛けて草を育て、その草を食べて生き活きと生活する牛たちからおいしい牛乳を搾り、搾った大切な生乳を専用車にて【那須高原 南ヶ丘牧場】のミルクプラントに運び、牧場スタッフの手で製品へと加工しています。

草食動物である牛に、できるだけゆったりとした環境で暮らしてもらい、ストレスの極力少ない健康な乳牛を飼育することが私達の理想です。



←南ヶ丘牧場携帯サイトでは、
どうぶつや商品などの情報をご覧いただけます。



親牛は福島へ…………。

ピロシキ

中身はアツアツで外
はサクサクもっ
ちり！！



イチゴチョコ

味はアポロ味でした！！

ウサギにリードが.....。

ふれあい広場

広場入口

入場料1歳～ ¥200
券をお買い求め下さい

うさぎレンタル

うさぎの
レンタル

1羽20分以内 ¥500
うさぎは現金受付です

牛柄の馬？





釣り堀も



7日
目



- 酪農学園卒業生の菊池先生との交流
- Wind Family

酪農短大卒業生で
いらっしゃる菊池先生。
ご自宅へのご招待
いただき・・



与えられた
食事に感謝
して..



朝食をいただき
ました♪



美味しかったです☆



ごちそう様
でした！



*Wind family*農場





経営者の上田さん





水の浄化



鳥たちが放し飼
いされています！





新鮮なタマゴ





豚さんがお休
み中



これが水を
与えるタンク

これが再利用した肥料





多くの野菜たち



ピーマン

キュウリ







手作りの家

満足そうに話す
上田さん





最終日・反省会



大洗港



船の中



最後の夜



反省会



良かったところ

- 目標ができた。
- 国際交流ができた。
- 歴史を学べた。
- 実体験が大切だと思った。
- 農と食と環境の大切さを学べた。

反省すべきところ

- ・国際交流をするために英語をもう少し・・・
- ・もう少し積極性をもつべきだった。
- ・自分の得意なところを活かせれば・・・
- ・事前準備が足りなかった。
- ・もう少し責任感をもつべきだった。

御静聴ありがとうございました

